

実施日	令和 3 年 1 月 14 日
-----	-----------------

評価項目「独自」

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、各授業において主体的・対話的で深い学びを推進するとともに、1時間ごとの分かる授業の展開と工夫を常に念頭におき、児童一人一人が学びやすい授業づくりに取り組んでいる。	B	コロナ禍において、休校による授業時数減少や学校行事中止の影響を取り戻すため、教職員が毎時間の授業と向き合い、真剣に子どもたちを指導してきた。さらに、研鑽し、個々に対する学びの保証と学力の向上を目指していきたい。	A	・コロナによる休校の影響は、学習面において、子ども、先生方ともに多大な影響が出ていると思いますが、それを取り戻すために努力して下さっていると思います。 ・各教室の授業風景を見せていただき、教師と児童が一体となっている様子を感じた。 ・研究委嘱を継続して受け、教師の指導力も向上しているように思われる。 ・コロナ禍での授業日数の確保等、大変だと思いますが、更なる指導を期待しています。 ・授業の取組に工夫、研究が見られる。 ・コロナ禍が全国に広がる中、池田小学校の積極的な取り組みに生徒全体が良い方向に進んでいるのがわかる。
2	学校は、コミュニティ・スクールの推進のため、地域の人材・環境を学校に取り込み、保護者との連携について組織で対応し、連携を深めるなど、信頼関係の構築に努めている。	A	コロナ禍により、地域の方や保護者の支援を受ける状況ではなかった。そのため、外部指導者を招聘し、専門家による専門家の指導は、授業の充実及び教職員の負担軽減を図る良い機会となった。	A	・校長先生を中心に様々な取り組みをしてくださっていて、大変素晴らしいことだと思います。来年度は地域の方々と協力して何かやれたらと思います。 ・幅広い教育を推進して学校・地域・専門家を取り入れ、効果が見られる。 ・専門家や外部指導者の授業は、子供の興味を引く取組で良いと思う。 ・地域の交流に積極的に取り組んでおられる。
3	学校はふれあいデーを完全実施するなど、教職員の心身の健康を守る働き方改革を行っている。	B	年度当初の在宅勤務やコロナ禍での体調管理の重要性を認識している。日常的な会食については、感染リスクが高く、教職員が感染することで学校における信頼を損ねることが分かっているため、働き方の工夫をしてきている。	A	・日々の業務に加え消毒作業等負担も増えています。残業にならないよう、工夫して業務をして下さい。 ・コロナによる教育活動を大幅に見直さなければいけない状況において、教育内容対策を講じた提供がなされている。 ・コロナ禍で先生方の仕事量が増えているのか心配です。 ・教職員の職務が増える中、体調管理に注意しておられる。 ・コロナ禍で今まで体験したことがない中で、教職員（特に校長、教頭）が心身の健康を守るためにふれあいデーやノー会議デーに力を入れている。

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	A	コロナ禍による学校行事の中止に伴う授業への集中は、教員としての本質的な意義である。その反面、遊び方のマナーやいじめ、不登校等、生徒指導、教育相談についての課題が多く、組織での対応をしてきた。	A	・コロナによる影響は子どもだけでなく、保護者にもこれから様々出てくると思います。個別に対応するケースも増えてくると思いますので、今後も全体で対応をお願いします。 ・働きやすい環境づくりに努力されており、和をもって自ら学ぶという姿勢、自信ある行動を感じる。 ・授業以外の対応等、非常に良くやっていると思う。 ・教職員の積極的に教育に取り組む体制がいいです。 ・校務分掌については解りませんが、「やる気、ゆう気、げん気」のキャッチフレーズのもと、健康で良く学ぶ心豊かな学校を期待します。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	A	コロナ禍において、校長の指示伝達内容の徹底や、目標の連鎖について、常に「報・連・相」という形式で実現している。	A	・教職員の連携、学校を愛する気持ち、働くことの喜びを持ち、常に前向きな姿勢が見られる。 ・PDCAの回転と、報告、連絡、相談、等の行動が感じられます。 ・学校側（特に校長、教頭先生）の教育に対する取組が大変良いです。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	三密に配慮し、全校児童を一か所に集められない中、避難訓練等、放送（ICT）の使用を通して、対応できる力の育成を目指した。教職員の工夫とアイデアが輝いた活動となった。	A	・コロナ禍の中、様々な工夫をしながら日常業務や学校生活をして下さっていると思います。1年が経とうとしていますが、さらに続くと思いますので、今後も工夫とアイデアで乗り越えていただければと思います。 ・コロナ対策をしっかり意識して対応を図り、日々の生活にも気配りがなされている。 ・例年通りの訓練等ができない中での工夫、とても良いと思います。 ・全校生徒が一斉避難訓練又放送での訓練を実施しているのは大変いいことだと思います。 ・町会の地域の中にも不審者情報を耳にします。集会所で集まりがある時は受付等に飛沫防止のフィルムを張って防止している。教育に於いても、机に飛沫防止ガードを使用されていた。

評価項目「学力向上」

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	生徒指導上の課題が多い中、授業に集中し、子ども一人ひとりの学力を伸ばすため、校内研修や教材研究に励んだ。	A	・授業時間が減っている中、各学年の学習の内容を考え、進めていただいていると思います。 ・教師の指導の成果は子どもとの信頼関係で成り立つが、一人一人の子どもにしっかり向き合って学力向上を図っている。 ・成果を感じます。 ・全生徒の学習面・体力面に、一年間の大きな成長を感じる。職員の方々に感謝しています。 ・児童の指導内容の目標を定め、授業されている。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	本校の学力課題に対応するため、始業前に読書や書く活動を位置づけている。また、授業において、振り返りの時間を確保し、学年に応じたまとめ方を指導してきている。音声言語を聞くと、語彙数の少なさ、適切な言葉の選び方等、課題が大きい。更なる方策が必要と考える。	A	・授業の見学はできていませんが、授業や生活の中で子どもたちが発言や考えを伝える時間を増やしていただきたいと思います。 ・適切な表現による会話、相手に分かるように話す。相手の話をしっかり聞き取る等、言語活動のさらなる取り組みの必要性を感じる。 ・コロナ禍で、グループに分かれてディスカッション等も出来ないのが残念です。 ・本を読むことにより、児童の思考力・判断力・表現力が高まる。 ・学校の方針で良いと思います。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A	昨年度作成した新学習指導要領に基づく今年度の年間指導計画で、教科等の指導にあたっている。しかし、コロナ禍により、感染リスクの高い学習活動を避け、単元を入れ替えたり、内容の工夫をしたりして指導にあたった。	A	・工夫して進めてくださっていると思います。 ・現状の事態に合わせ、内容の精選、活動内容の工夫等前向きな取り組みを行っている。 ・非常に良いと思います。 ・学校の学習指導要領の方針でいいと思います。 ・新学習指導に基づき池小の学力向上は、新座の小学校では上位にあると思います。

10	学校は、英語(英会話)の授業を充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	B	文科省の特例校の枠が外れ、1・2年が月1回の年間10時間程度、3・4年が外国語活動週1回、5・6年外国語週1回となった。今年度より、評価を伴うので、EETと連携しながら、学習指導にあたる必要がある。校内研修をするなど、指導技術を磨いていく。	A	・国際化に向けた学習を取り入れ、効果が現れているが、それを生かす工夫が欲しい。 ・授業日数が減ってしまったが、工夫して指導に励んで下さい。 ・昨今コロナの件もあり教職員の負担にならない程度に続けてほしい。 ・今では小学1年生から英語を学べられ校内放送でも英語歌唱も聞けて大変良いと思います。
----	---	---	--	---	--

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	あいさつについては、登校班において高学年が積極的であれば班員にも影響を与えられる。校外でのあいさつに課題がある。言葉遣いについては、教師自ら範を示し、呼び捨てや敬称、俗語、流行語、略語など、正しい日本語を使用し、子どもたちの言葉活動をより豊かなものにしていく。	A	・家庭と地域両方で、声かけしながら、あいさつ、言葉遣いを気をつけていきたいと思います。 ・学校での取り組みは評価できるが、各家庭での意識が弱いのでなかなか進んでいないように思われる。 ・犬の散歩をしていると、下校中の子供達に良く挨拶をされます。とても気持ちの良いものです。 ・常によく指導されていると思います。パトロール中、下校時等の挨拶、言葉遣いは模範生です。 ・学校では来校者の方に挨拶をしますが、今では見守りをする人たちにもするようになってきている。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	A	いじめについては、昨年度からの継続的対応中である。学級担任による行動観察や指導、本人への支援、家庭との連携、現状の報告等の積み重ねにより、少しずつ改善されてきている。昨年度から引き続き不登校の子どもが増加している。理由は様々であるが、教育相談部を中心に対応している。特に急学によるしぶりが多く、担任も日々苦慮している。	A	・コロナもあり、さらに個別対応が必要になると思いますので、対応をお願いしたいと思います。 ・いじめ対策がしっかりなされているように思う。日常生活していく上での悩み、相談がしやすい工夫もなされている。 ・コロナ禍で不登校児童が増加してしまい残念ですが、良い信頼関係を築いて頑張ってください。 ・あいさつや思いやる気持ちは、保護者、地域の皆さんと教職員全員で取り組んでゆきたい。 ・教職員の指導の下、生徒たちのいじめや意地悪な行為を見たことがないです。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	教職員は常に念頭において指導している。今年度は、特に放課後においてのクレームが多く、近所づきあいや保護者同士の関係が希薄であると感じる。地域に向向いてクレーム処理することも度々あり、働き方改革にはなっていない。	A	・地域、PTAで子どもたちの放課後、遊び環境が良くなるよう考えたいと思います。 ・子どもは、教師の姿を手本として見て学んでいます。池田小の職員の明るさは感じるが、どの子ども、どの親、どの教師にも明るさと公平な接し方を意識されると良い。 ・放課後の遊び方は、保護者からも指導してもらい必要があり、学校側の責任ではないと思う。先生の負担が多くなる。 ・放課後のクレーム処理について、ご苦勞様です。道徳教育の一層の高揚が必要。 ・池田小学校側では、校長、教頭先生の指導の下、教職員が生徒に良い指導をしている。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	コロナ禍であるため、体育的活動に制約があり、教職員としてはカード等を使用して体力向上を模索するなど苦慮した。しかし、外遊びの励行や教職員自らが子どもたちと共に体を動かす機会を増やすことで運動意識を高めていく。	A	・日々の中で、体力向上できるものを、学校、家庭でやっていきたいと思います。 ・体力向上に向けた工夫を感じる。 ・休校期間中、ジョギングをしている子供達を多く見かけた。一方で、外出自粛で家の中でゲーム三昧の子も多かったのではないかと二極化を改善した方が良い。 ・体育時間や休み時間等、校庭で元気な声が聞こえる。 ・生徒たちは体育の授業が一番楽しそうに見えます。体力向上にも最高です。その努力の結果が運動会の生徒たちの姿であり、見ている人々たちを楽しませてくれます。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	今年度は、持ち帰り給食から始まり、分散登校時や通常授業(当初、ガード有)時の給食と、その段階ごとに検討してきた。メディアに取り上げられることも多く、成果を実感できていると感じている。	A	・コロナの中で、大変工夫しながらやっていただいていると思います。持ち帰り給食も嬉しかったです。 ・積極的に食への関心を図る工夫を感じる。 ・自校給食ならではの食材を取り入れていて良い。牛肉や鯛など子供も喜んだでしょう。 ・以前給食交流会に何度か参加させてもらいました。学校の畑で、土づくりから野菜を育て、給食に取り入れられる。続けてほしいです。 ・池田小学校の給食会に何度か出席させていただきました。生徒全員が楽しく一緒に給食を食べている。栄養士、調理員の方の努力が心から感謝の思いです。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	臨時休校中の家庭訪問や地域からのクレームに即行動し、早期対応を心がけた。組織体制の整備を図ることで、対応しやすくなった。	A	・項目13同様、対応と一緒に考えていきたいと思います。 ・早期対応は保護者信頼の重要な事であり、組織での対応も図られているようである。 ・クレーム対応など大変だと思いますが、早期に対応していると思う。 ・池田町会では27年までは夏祭りを行って来ましたが、3月下旬の桜祭りの地域交流会は、コロナの状況次第で分かりません。 ・地域の住民として一言、校長、教頭先生をはじめPTAの役員の皆様には町内会行事に参加、協力をいただき心よりお礼感謝しております。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果、課題などについて定期的に情報提供している。	A	HPの毎日の更新や、新聞への子どもの作品投稿、メディアへの積極的な働きかけによる、池田小の特色をテレビ画像から発信するなどの取組を実施している。	A	・ステイホームの中、情報や学校、先生たちの様子が分かることが、親子にとって貴重でした。 ・情報を外部に示していく等開かれた学校づくりの取り組みが成されている。 ・子供たちの意欲がわく取組をしていて非常に良い。 ・学校だよりにて、学校内のPRの記事やPTAや給食関係等又テレビからの取材を通して発信もみられる。 ・学校の様子が様々な方から耳に入り、良いイメージを強く感じます。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	コロナ禍により、保護者や地域の方との連携活動を控えた。しかも、最小人数に制限した形の実施とした。その中で、地域のシルバーボランティアの方々に、校庭の整備等のお力添えをいただき、今後お願いできることにつながった。	A	・来年度も協力していきたいと思います。 ・地域の協力が進んで行われていることで、学校運営が順調になされている。 ・町会のパトロールやシルバーの見守り、PTAの見守りの方々と連携して、声かけ運動を進んで見られるようになってきた。 ・学校、PTA、地域が一体となって安心安全な町になると思います。